

平成18年3月期中間
決算説明資料

平成17年11月30日

 川重冷熱工業株式会社

平成18年3月期 中間決算概要

売上は、機器は大型物件の納期ずれ等により、改修改造・メンテナンスは前期末の受注残高が少なかったことにより、共に前年同期比減となりました。経常利益はコストダウンおよび諸費用の低減に努めましたが資材費高騰等の影響もあり、前年同期比を下回りました。中間純利益は前年度で退職給付会計基準変更時差異償却が完了したこともあり前年同期比を上回る結果となりました。

平成18年3月中間貸借対照表



資 産

金額単位:百万円

	当中間	前中間	前年同期比	備 考
流動資産	9,347	8,626	108.4%	
現金及び預金	26	16	162.5%	
受取手形・売掛金	6,349	6,200	102.4%	
棚卸資産	2,719	1,938	140.3%	
繰延税金資産	257	230	111.7%	
その他流動資産	6	239	-2.5%	川崎重工業(株)グループファイナンスによる資金貸付金減の影響
固定資産	3,981	3,683	108.1%	
有形・無形固定資産	2,214	2,221	99.7%	
長期繰延税金資産	1,211	1,190	101.8%	
投資その他の資産	555	271	204.8%	中国での合併会社「同方川崎空調設備有限公司」の設立に伴う出資の影響
資産合計	13,329	12,309	108.3%	

平成18年3月中間貸借対照表



負債・資本

金額単位:百万円

	当中間	前中間	前年同期比	備 考
流動負債	6,506	5,468	119.0%	
支払手形・買掛金	4,790	4,409	108.6%	
短期借入金	533	30	1776.7%	中国での合併会社「同方川崎空調設備有限公司」への出資に伴う借入増等
前受金	226	126	179.4%	
設備支払手形・未払金	167	172	97.1%	
その他の流動負債	789	729	108.2%	
固定負債	2,996	3,066	97.7%	
退職給付引当金	2,866	2,955	97.0%	
その他固定負債	129	110	117.3%	
負債合計	9,502	8,534	111.3%	
資本金	1,460	1,460	100.0%	
資本剰余金	1,228	1,228	100.0%	
利益剰余金	1,125	1,082	104.0%	
(内、中間純利益)	(41)	(23)	178.3%	
株式等評価差額金	19	10		
自己株式	7	6	116.7%	
資本合計	3,826	3,775	101.4%	
負債・資本合計	13,329	12,309	108.3%	

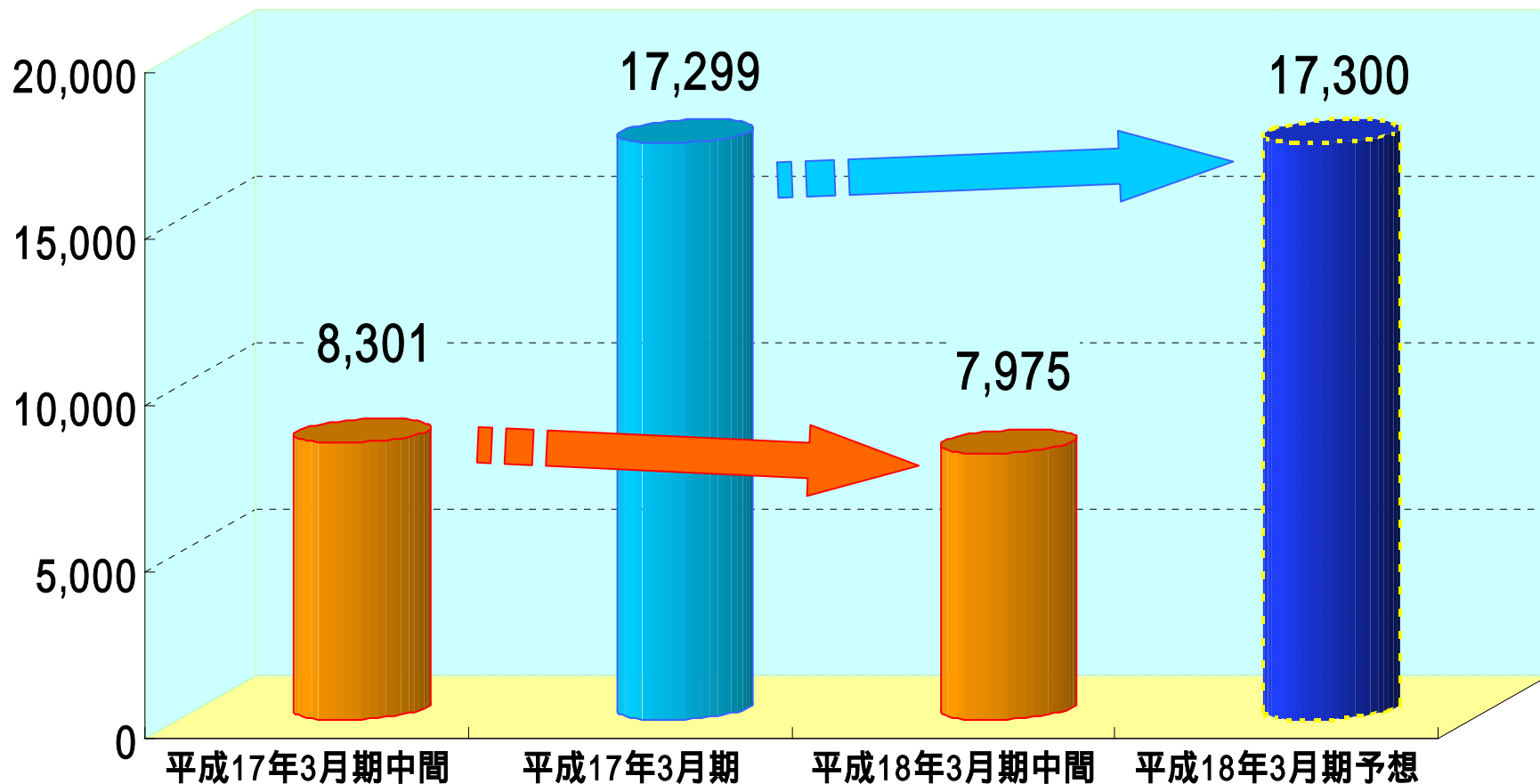
平成18年3月中間損益計算書 川重冷熱

金額単位:百万円

	当中間	前中間	前年同期比	備 考
売 上	7,975	8,301	96.1%	
売上総利益	2,078	2,166	95.9%	
販売費及び一般管理費	1,924	1,986	96.9%	
営業利益	154	179	86.0%	
営業外収益	10	9	111.1%	
営業外費用	38	19	200.0%	棚卸資産処分損 他
経常利益	126	169	74.6%	
特別利益	0	16	0.0%	
特別損失	0	102	0.0%	昨年度で退職給付会計基準変更時差異償却を完了
税引前中間純利益	126	83	151.8%	
法人税、住民税及び事業税	85	60	141.7%	
中間純利益	41	23	178.3%	
前期繰越利益	315	289	109.0%	
中間未処分利益	356	313	113.7%	

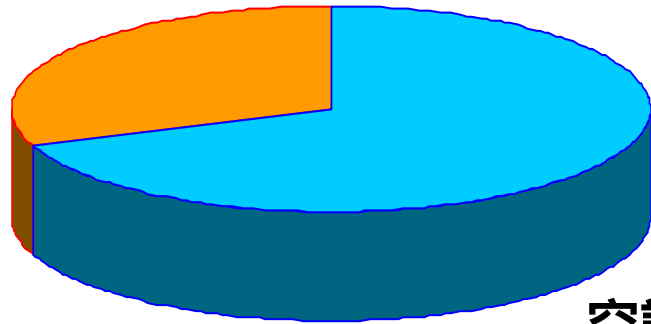
売上の推移

金額単位：百万円



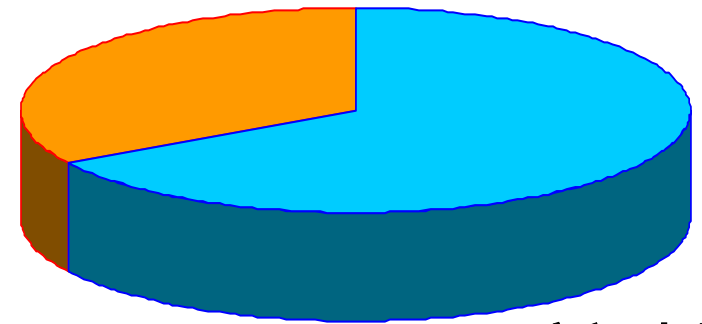
売上構成比の比較

ボイラ事業
30.8%



平成17年3月期中間

ボイラ事業
30.3%



空調事業
69.7%

18年3月期中間

要因分析

空調事業、ボイラ事業の機器、改修改造工事・メンテナンス共に減少しましたが構成比に大きな変動はありませんでした。

事業区分別分析



空調事業

機器の売上は、大型機の減少に伴い減少いたしました。

改修改造工事・メンテナンスは受注残高が少なかったため減少いたしました。

ボイラ事業

機器の売上は、貫流が増加したものの水管、炉筒煙管の大型物件が納期の関係で下期にずれたことにより減少いたしました。

改修改造工事・メンテナンスは減少いたしました。

平成18年3月期 業績予想

平成18年3月期の業績予想



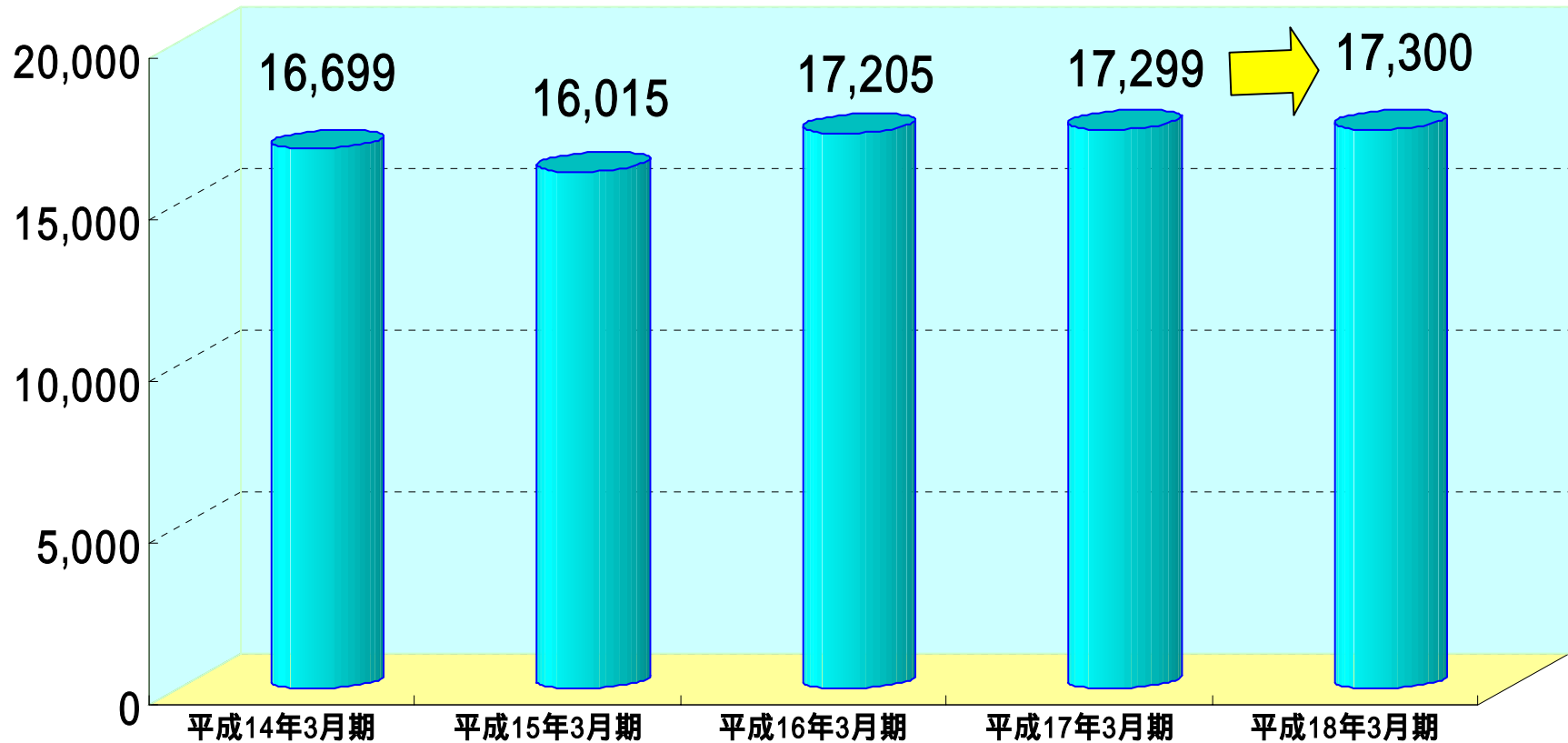
金額単位:百万円

	今期予想	前 期	前 期 比	備 考
売 上	17,300	17,299	100.0%	
空調事業	11,500	11,786	97.6%	
ボイラ事業	5,800	5,513	105.2%	
経常利益	350	509	68.8%	
退職給付会計基準変更時差異償却	0	205	0.0%	
当期純利益	140	126	111.1%	

売上の推移(予想)



金額単位: 百万円



空調事業

吸収冷温水機の大型容量域の「シグマエース」、「三重効用型機」および新規市場投入をした中型容量域の「シグマミディ」を中心にリブレース需要を確保いたします。

電話回線を使ったメンテナンスシステムの「テレメンテ」の普及およびサービスメニューの充実を図り、改修改造工事・メンテナンスの拡大を図ります。

ボイラ事業

大型貫流ボイラ「イフリート」の制御性の特長、省エネルギー性を活かして受注拡大に注力いたします。

機器本体に付帯する周辺設備への対応力を高めて事業の拡大に努めてまいります。



参 考

当社は、設計・製造、販売、サービスの一貫体制のもと、製品、サービスの付加価値を高め、顧客第一主義を掲げ、提案型営業に努め業容拡大を図ってまいります。

また、財務体質の改善・強化、業務の効率化、顧客管理システムの確立、生産体制の合理化、コストおよび固定費の削減に努め、経営基盤の一層の強化を図ってまいります。

当社の関連する空調業界では、省エネルギーおよび吸収式の特長を最大限に活かして余剰エネルギーを有効利用する機器の開発が進展していくものと思われます。また、市場競争の激化により販売価格が低下傾向にあります。

ボイラ業界は、貫流ボイラを中心とした市場構造には変化がないと思われます。

本資料に関する問合せ先



企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。